

茎

を見る

ツル性のクサフジ



アイヌ語名は () 内に の写真は毒草

トゲや毛のある茎



エゾイラクサ(モセ)。
触るとチカチカ痛がゆい



アキノウナギツカミ。ウナギ
もつかめるトゲ、という名前

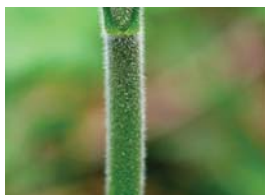
ツルツルの茎ばかりではありません。
毛やトゲのある草もたくさんあります。
それぞれにどんな役割があるのか、それ
ともないのか、考えてみてもいいですね。



ツリフネソウ。キツリフネ
にはこの毛がない



コウゾリナ。コウゾリとは
カミソリで、剛毛に由来



ユキザサ(ベペロ)



クサノオウ(オトンブイキナ)
毒草

筒になった茎 - ストロー、ホース、笛に

切ってみるとまた違う顔が見えてきま
す。水を吸い上げ、栄養をおろす、その
ための道筋があるのですが、その並び方
がいろいろあるのです。

まずは中が筒になった草を見つけてみ
ましょう。



オオイタドリ(クツタル)。
「クツタル」は「筒の茎」



アキタブキ(の茎=コルコニ)

汁の出る茎



セイヨウタンポポ (外来種)
白い液が出る



クサノオウ(オトンブイキナ)
毒草でも薬草でもある

切ると液体の出る草もあります。
白い液の出るタンポポやツリガネニ
ジン (ムケカシ)、黄色い液のクサノ
オウなど。切って確かめてみましょう。
ただし、クサノオウも毒草です。不用
意になめないように。猛毒草の場合は傷
のある手で触るのも危険です。

参考文献

「改訂増補 牧野新日本植物図鑑」 牧野富太郎 著 小野 他編集 北
隆館 1989
「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001

「新版 北海道の花(増補版)」 飯島惇一郎・辻井達一・梅沢俊 北海道
大学図書刊行会 1993
「アイヌ植物誌」 福岡イト子 草風館 1995